

泌尿器科長 引継ぎのご挨拶

泌尿器科部長 石原 順就

院長よりご挨拶

院長 木村 健二郎

感染症科医の仕事について

感染症内科 守山 祐樹

令和2年度 新任医師のご紹介



vol.73
2020.6

JCHOだより
うえーぶ
Wave



独立行政法人 地域医療機能推進機構

東京高輪病院

医療連携・患者支援センター

〒108-8606 東京都港区高輪3丁目10番11号
TEL: 03-3443-9576 FAX: 03-3443-9570
<https://takanawa.jcho.go.jp/>

病院理念

心のこもった医療を安全に提供します。

泌尿器科長 引継ぎのご挨拶

JCHO 東京高輪病院 泌尿器科部長 石原 順就

いしはら まさなり



2020年4月から松崎 章先生の後任として泌尿器科長を勤めています。松崎先生は当院に22年勤続され、私は16年前からご一緒してきました。高齢化社会の中で前立腺肥大症や前立腺腫瘍、過活動膀胱や膀胱腫瘍、尿路結石を中心に泌尿器科一般診療を息長く継続しています。長いお付き合いの患者さん方が多く、各疾患の自然経過を拝見しています。

2019年からは松崎香奈子先生に加わっていただき、現在2人体制で診療に当たっています。

当科は中規模総合病院の泌尿器科として、待ち時間は少なく入院のハードルは低く気軽に患者さんや近隣の先生方のニーズにお応えすることを日々の喜びとしています。スタンダードな経尿道的手術や体外衝撃波の装置を整えて、いつでも皆さんの要請をお待ちしています。

当院には城南地域の中では希少な地域包括ケア病棟があり、私は昨年からのこちらの病棟長も併任しています。患者さん達との長いお付き合いの中で、この病棟を必要とされる方もたくさんおられます。ご相談や調整に応じることにも私達の使命です。

また、5年前から市民公開講座の委員長として企画立案、司会をしています。当院の多職種スタッフが専門分野をわかりやすくお話しするカルチャーセンターとなることを目指しています。患者さんやご家族向けという形ですが、近隣の先生方にも楽しく聴いていただけるのではと自負しています。

高輪病院を引き続き皆様の身近な病院として感じていただけるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

院長よりご挨拶

当院に待望の感染症専門医が常勤として赴任してくれたことにより、新型コロナ肺炎にも対応したしっかりした感染症対策をとることが出来ました。職員一同地域連携をしっかりと推進していく覚悟ですので、今後とも感染症に限らず患者様をご紹介しますようお願い申し上げます。

JCHO 東京高輪病院 院長 木村 健二郎

きむら けんじろう

感染症科医の仕事について

もり やま ゆう き

JCHO 東京高輪病院 感染症内科 医師 守山 祐樹



この度、感染症内科に赴任しました守山祐樹と申します。新型コロナウイルス感染症が世界中を騒がせており、感染症科医が注目されていますが、元々はマイナーな診療科です。よく、「感染症科って何をしているの?」と聞かれますが、今日は感染症科の仕事の内容をご紹介します。

まず、1番は患者さんの診療です。感染症というのは医師ならば誰でも診療したことはある疾患ですが、掘り下げるととても深い領域です。

感染症と一口に言っても「どんな患者の」「どの臓器に」「どの病原体が」感染しているかで治療法は変わってきます。ほとんどの感染症は、治療するのはさほど難しくありませんが、時には、様々な要素がこんがらがって、患者さんの病態がとても見えにくくなっている場合があります。また治療をするのに少しコツがある感染症もあります。そのような患者さんや感染症の診療をしたり、主治医の先生に治療方法を提案することが感染症科医のお仕事です。

2つ目は院内の感染管理のお仕事です。これは感染管理の専門の看護師さんと一緒にやっていきます。耐性菌

や伝染しやすい病原体を院内に広げないための大切なお仕事です。

3つ目は抗菌薬適正使用のお仕事です。今は新型コロナで世界が大騒ぎになっていますが、少し前までは「耐性菌」が私たちの業界のトピックスでした。実は2015年にWHOが「このままだと耐性菌による死亡数が癌で死亡する数より多くなるぞ」と警告を出しています。今のところは、感染症は抗菌薬で治る病気ですが、抗菌薬が効かない菌が増えてきて、「感染症=治らない病気」になったらとても怖いですね。そんな未来を避けるために今できることが、抗菌薬の適正使用です。「適正使用」というと難しいですが、「抗菌薬を使うべき時に、しっかりと使う。使うべきではない時には使わない」ということです。言い換えても難しいですね。未来の患者さんを守るため、抗菌薬の使い方についてご提案させていただくのも感染症科医のお仕事です。

ざっくりとした解説になりましたが、大体このような仕事をするのが感染症科医です。お困りのことがあればなんでもお気軽にご相談ください。

令和2年度 新任医師のご紹介



さいとう しゅうた
齊藤 翔太

循環器内科
出身大学・最終学歴：新潟大学 平成29年卒
専門分野：循環器内科・内科一般
今後取り組みたい分野・治療：
カテーテル検査・治療



ひらい あきひろ
平井 章浩

循環器内科
出身大学・最終学歴：金沢大学 平成29年卒
専門分野：内科一般
今後取り組みたい分野・治療：
悪性腫瘍の化学療法



ひろよし じゅんこ
廣吉 淳子

外科
出身大学・最終学歴：福岡大学 平成22年卒
専門分野：一般外科、消化器外科、肝胆膵外科
得意とする診療領域：一般外科、消化器外科、肝胆膵外科
今後取り組みたい分野・治療：腹腔鏡下手術、ロボット手術



あおき ようこ
青木 蓉子

外科
出身大学・最終学歴：東京医科大学 平成30年卒
専門分野：一般外科
今後取り組みたい分野・治療：乳腺疾患



なかむら しゅうた
中村 彰太

整形外科
出身大学・最終学歴：東邦大学 平成28年卒
専門分野：整形外科一般
得意とする診療領域：一般外傷
今後取り組みたい分野・治療：変形性関節症、外傷



しみず あつし
清水 篤

脳神経外科
出身大学・最終学歴：日本大学 平成23年卒
専門分野：血管障害、血管内治療
得意とする診療領域：血管障害、血管内治療
今後取り組みたい分野・治療：脊髄、脊髄疾患